

【クラブ活動報告】

ウクライナ難民のためのサポート教育センター支援

泉佐野ロータリークラブ

会長 大工 貞晋

国際奉仕委員長 貴志 豊

今年の2月24日、ロシアがウクライナ侵攻を始め、日を追うごとにウクライナ国民が隣国へ多く避難しています。受入国の一つであるポーランドにおいて、約200万人のウクライナ難民を受け入れており、ワルシャワだけでも30万人に達します。

このようなことからクラブで何かできないか検討した結果、ワルシャワにあるショパンロータリークラブに知人がいる貴志国際奉仕委員長が連絡を取り「ウクライナ難民のためのサポート教育センター」支援をすることを理事会決定しました。

資金として、ロータリー財団災害救援補助金を使用できると判明し、日本事務局財団室のアドバイスを受け申請させて頂きました。申請額は、最大の25,000ドルで、送金は、クラブからできないため地区財団委員長に相談して、送金して貰いました。



教育支援センター

このプロジェクトの概要は、

- ウクライナ難民のためのサポート教育センターを開設。運営はウクライナ人に委ねる。
- 提携したショパンロータリークラブ管理の施設は、ワルシャワ郊外に位置し、3階建ての2階3階のフロアを使用。
- センターは、以下のとおり活動している。

☆第1段階 心理士、精神科医による難民への精神的サポート

☆第2段階 デイケア

☆第3段階 教育

以上です。少しでも早くウクライナへの侵攻が終わり、以前のように平和に暮らせる時がくることを祈っています。

教育支援センターでの活動の様子



受領通知

